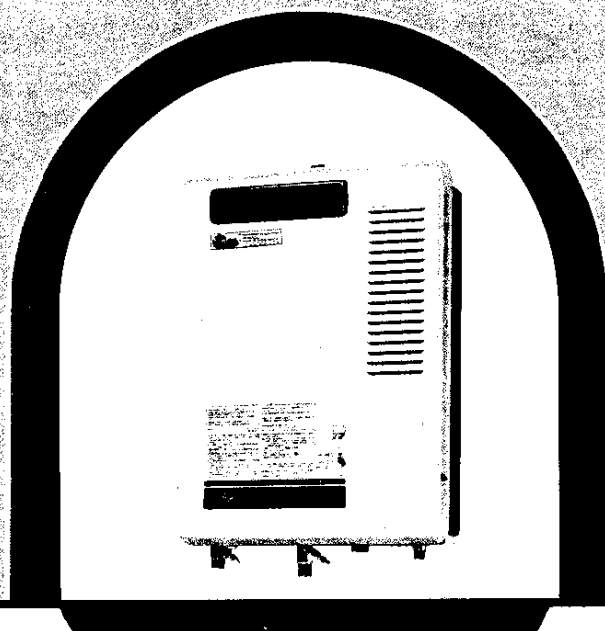
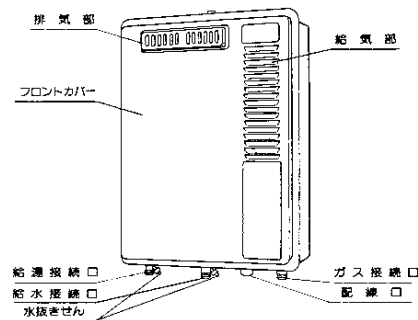
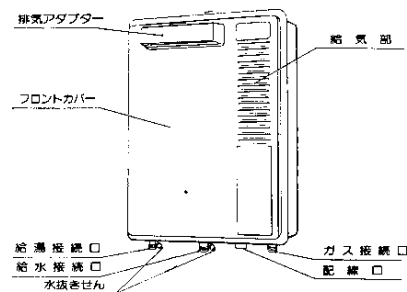
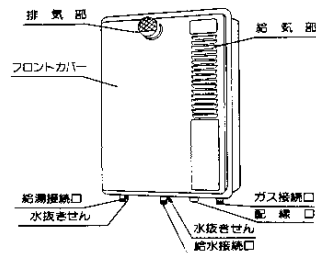
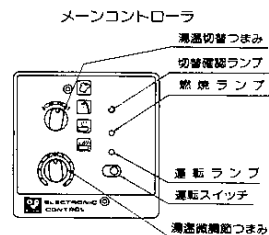
ガス湯沸器<瞬間式>
取扱説明書 33-691型 33-692型

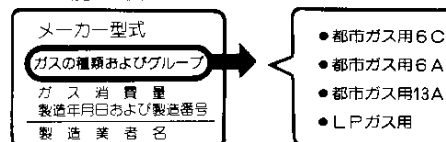
保証書付

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガス湯沸器〈瞬間式〉をお求めいただき、ありがとうございました。

別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保管してください。

もくじ

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

●ガスの種類を確かめてください。

ガス器具本体の前面にはってある銘板（ラベル）に表示のガスの種類とお宅のガスが一致しているかをまず確かめてください。

●ガスの種類には都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。

●転宅されたときにも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

●電源の電圧と周波数を確かめてください。

この器具はAC100V、60ヘルツ用です。お宅の電源の電圧と周波数が一致しているかお確かめください。

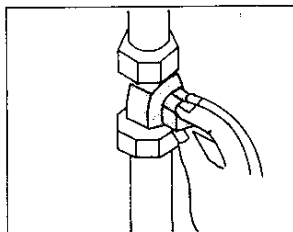
●給湯及びシャワー以外の用途には使用しないでください。

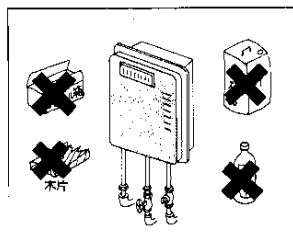
●壁その他の可燃物から十分離れている場所で使用してください。

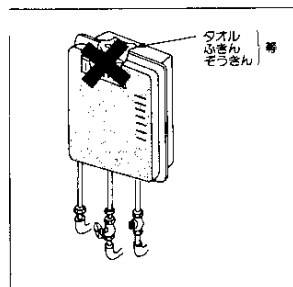
ガス漏れ予防

● 器具をご使用にならないときや外出前、またおやすみ前には万一の事故がないように、必ず元せんをしめてください。

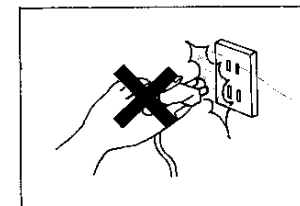
● 使用後は必ず器具せんを閉じ、消火したことを確かめてください。

● 使用中には時どき正常に燃焼していることを確かめてください。

火災予防

● 器具の上やそばに燃えやすいもの(紙、揮発油など）を絶対においたり近づけたりしないようにしてください。

● 排気部の上にタオル、ふきんなどをのせないでください。
不完全燃焼や異常過熱の原因になります。

● 火をつけたまま就寝、外出は絶対にしないでください。

● ご使用中および使用直後は、器具本体とその周辺は熱くなりますので、手を触れたりしないでください。特に小さなお子様がいるご家庭はご注意ください。

● ガス漏れに気づいたときは、すぐ使用をやめてガス元せんを閉じ、大阪ガス支社または大阪ガスサービスショップに連絡してください。

ご注意
万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり換気扇その他電気器具にふれたりしないでください。(スイッチの入・切や電源プラグの抜き差し等）火や火花で引火し爆発事故を起こすことがあります。

厳寒期には、器具内の水が凍結し、破損事故が起こることがありますので庭のたまり水などが凍るおそれのある日は、給湯せんから水を流し放しにするか、器具の中の水を抜くなどして凍結を防止してください。
(器具の中の水を抜く方法については、12ページを参照)

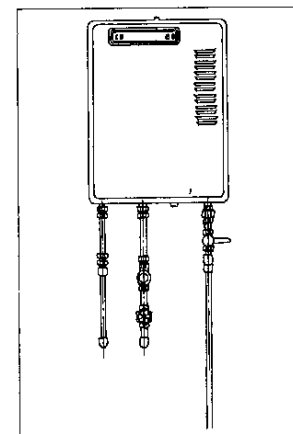
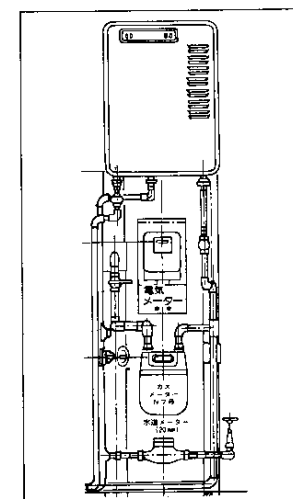
● 凍結したときは

①器具や配管が、破損し、高額の修理費がかかる場合があります。
②凍結したまま使われますと、器具に異常が生じる場合があります。
凍結が溶けた後、水もれがないのをご確認の上ご使用ください。

● ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときはそのままお使いにならず、直ちにご使用を中止（器具せん、ガス元せん閉止）して十分な点検をお願いします。
〔故障異常の見分け方と処置方法については17ページをお読みください〕

- この器具には、電線からの誘導雷等の異常電圧を吸収し、器具を保護する雷サージ吸収装置（ZNR）を備えていますが、直撃雷については電気器具全般に問題がありますので、近くで雷の音が聞えてきたときは、電気部品の破損を防止するため、電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 継続してお使いになるとき、最初に出るお湯は特に熱くなることがありますので、少し出してから、手をふれるようにしてください。

- 器具を安全、快適にお使いいただくために、日常の点検、手入れは必ず行なってください。(詳しくは16ページをお読みください)
- 故障又は破損したと思われるものは使用しないでください。不完全な修理は危険です。
- 万一具合が悪くなって処置に困るような場合は、大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社にご連絡ください。

外壁設置図

メーターボックス設置図

(1)点火前の準備と確認

●外壁設置の場合

①給水元せんを開き、すべての給湯せんから水の出てくることを確認してください。また、水抜きせんが確実にしまっているか確認してください。

②ガス元せんを開いてください。

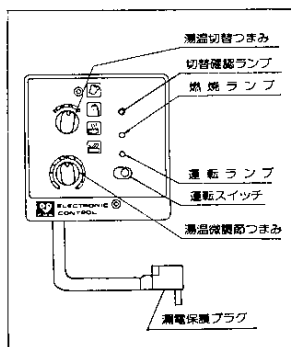
③メーンコントローラ側の電源プラグをコンセントに差し込んでください。

●メーターボックス設置の場合

①メーターボックスの扉を開けて以下のことを確認してください。

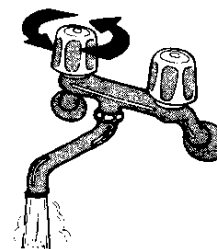
②給水元せんを開き、すべての給湯せんから水の出てくることを確認してください。また水抜きせんが確実にしまっているか確認してください。

③ガス元せんを開いてください。

④電源プラグを交流 100Vのコンセントにしっかりとさしこんでください。

(2)点火

●運転スイッチを「入」側にしてください。
運転ランプが点灯します。

●お湯を使用する場所の給湯せんをあけると自動的にバーナーに点火してお湯が出てきます。
この時、燃焼ランプが点灯します。

※この器具はダイレクト点火方式の採用によりたね火をなくし、給湯せんの開閉で直接メーンバーナーの点火・消火を行ないます。

（注意）

初めて使う場合は、ガス配管途中に空気がたまっていますので、すぐに点火せず安全動作に入ることがあります。
このときは、燃焼ランプが点滅しますので、給湯せんをしめてから運転スイッチを一たん「切」にし、再度「入」にしてください。

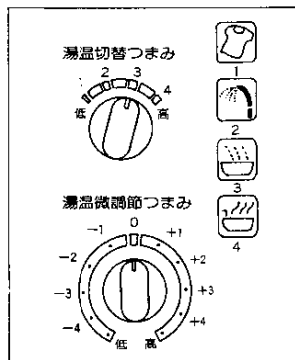
※再点火

運転スイッチを「切」にした後、すぐ使用される場合は３秒程待ってから運転スイッチを「入」にしてください。

(3)給　湯

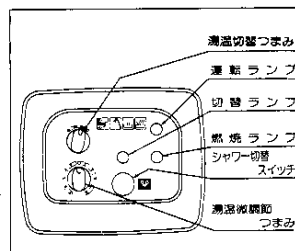
●お湯を使用する場所の給湯せんをあけ、混合水せんにより、湯と水を混合し、必要な湯温と湯量を調節してください。
給湯せんを絞りすぎますとバーナーの火が消えることがありますのでご注意ください。

※同時に２ケ所（例えば台所と洗面所等）でお湯を出すことはできますが、それぞれの出湯量は減ることがあります。
シャワー使用時は同時使用をできるだけさけてください。

※単独水せんの場合は湯温切替つまみにより湯温を調節してください。

湯温切替つまみ	出湯温度〔℃〕
1	41^{+6}_{-5}
2	43^{+6}_{-5}
3	48^{+7}_{-5}
4	68^{-12}_{-9}

※出湯温度

41^{+6}_{-5} 湯温微調節つまみ「高」／湯温微調節つまみ「低」

での数値です。

(4)湯温調節

湯温切替つまみを右へまわすと高温になり、左へまわすと低温になります。出湯温度はこのつまみで大きく4段階に分けて選択できます。

用途によりつまみを合わせてください。

● 湯温微調節つまみをまわすことにより、上記の4段階ごとに出湯温度の微調節ができます。

※マルチコントローラ方式の場合は台所等のメーンコントローラと浴室内のシャワーコントローラの一方から湯温調節ができます。

● **メーンコントローラで湯温調節するとき**

メーンコントローラの切替確認ランプが点灯していることを確認してから湯温調節してください。点灯していないときはシャワーコントローラのシャワー切替スイッチを押せば点灯します。

● **シャワーコントローラ(別売)で湯温調節するとき**

シャワーコントローラのシャワー切替ランプが点灯していることを確認してから湯温調節してください。点灯していないときは、シャワー切替スイッチを押せば点灯します。

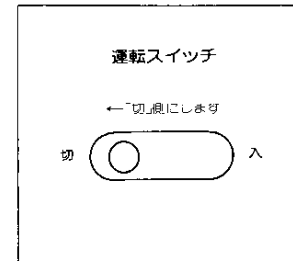
● 湯温調節機能の切替はシャワーコントローラのシャワー切替スイッチの押し操作でできます。

（メーンコントローラでは切替できません）

● シャワー使用後はシャワー切替スイッチを押し、メーンコントローラに湯温調節機能を切替えておいてください。

運転スイッチ

←「切」側にします

切　入

(5)消　火

● 使用後、給湯せんをしめれば自動的にバーナーの火は消えます。給湯せんを完全にしめてお湯の出をとめてください。

● 就寝前や長時間使用しない場合は運転スイッチを「切」側に押し、ガスの元せんをしめてください。運転ランプが消えます。

(6)停電時の処置

使用を一たん中止し、通電再開後、8ページ点火の項以下の操作を行なってください。

※この器具は電気で作動しますので、停電中は使用できません。

● 瞬間的な停電（1年間に数回あります）により安全動作に入ることがあります。

※ランプ点滅時の項により再点火してください。

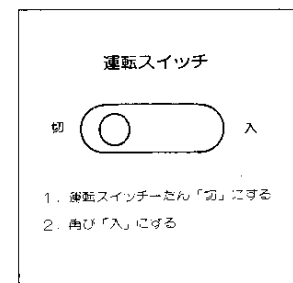
運転スイッチ

1．運転スイッチ一たん「切」にする

2．再び「入」にする

※ランプ点滅時

万一、火が消えたり、安全装置が作動しますと、ガスを閉じ燃焼ランプが点滅して安全動作をお知らせします。この時は、運転スイッチを一たん「切」にし、数秒待ち再び「入」にしてください。

給湯せんをあけて燃焼ランプの点滅が止まれば正常です。数回くり返しても点滅するときは、お近くの大阪ガスサービスショップもしくは、大阪ガス支社・サービスステーションにご連絡ください。

冬期は暖かい地域でも給水・給湯配管の水が凍結し、破損事故が起ることがあります。このような事故を防止するため、次のような処置をしてください。

(1)低温作動ヒーターによる方法

- この器具には、外気温がさがってくると自動的に器具内を保温するヒーターを組込んでいます。
- この装置は運転スイッチの「入」「切」に関係なく作動しますが、電源プラグを抜くと作動しなくなります。
- 外気が極端に低くなりますと、この装置では凍結防止ができなくなりますので(2)または(3)の方法により処置してください。

(2)通水による凍結防止方法

「この場合は器具本体だけでなく、給水給湯配管、バルブ類の凍結も防止できます。」

①ガスの元せんをしめます。

②運転スイッチを「切」にします。

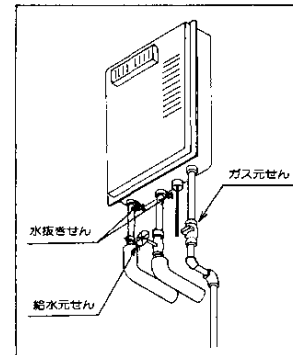
③お風呂場の給湯せんをあけ、1分間に約 200 cc（牛乳ビン1本ぐらい）〔特に寒い日は、多目に〕を浴槽に流し込んでください。

※流量が不安定なことがありますので、念のため30分ぐらい後にもう一度流量をご確認ください。水を浴槽に流し込み、翌日雑用水としてご利用ください。

（一晩で浴そう一杯程度になります。）

(3)器具内の水を抜き凍結を防止する方法

水抜きについてのご注意

- 水抜きは、長期不在の場合や器具の修理の時に行なうもので、通常は操作をしないでください。
- 集合住宅のメーターボックス（ガス、電気、水道メーターおよび配管）内設置などの水抜きを行なう場合は床面および、メーターボックス内部に水がこぼれないよう容器等で水を受けてください。（器具内の排水量は約700ccです。）

■水抜きの方法

①ガス元せんをしめます。

②電源プラグをコンセントから抜きます。

③給水元せんをしめます。

④すべての給湯せんをひらきます。

⑤水抜きせん（2ヵ所）をひらきます。

※水抜きせんは次にお使いになるまであけたままにしておきます。

※水抜き後、初めて使われるときは、水抜きせんをしめ給水元せんを開き、給湯せんから水が流れるのを確かめてください。

現場施工の状態により、(1)と(3)の方法では、配管部分の凍結まで防止できない場合がありますので、必ず保温材を巻くなどの処置をしてください。

①湯沸器や配管が破損しますと高額の修理費がかかる場合があります。（有償）

②凍結したままでは絶対に使用しないでください。
凍結したまま使われますと、湯沸器に異常が生じる場合があります。

③再使用の場合は、全ての給湯せんから水が出ることを確認し、器具及び配管から水漏れがないことを確認後、8ページ「使用手順」の項以下の操作を行なってください。

(1)安全装置が作動したときの処置方法

■バーナー安全装置(フレームロッド)

●使用中に万一、バーナーの炎が消えたときには、安全装置が働いてガス通路を閉じます。この場合は燃焼ランプが点滅しますので給湯せんを閉めてから運転スイッチを一たん「切」にし、しばらく待ってから再度「入」にしてください。

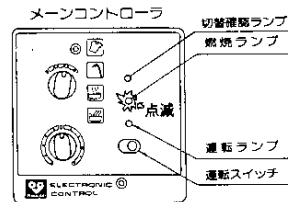
■残火安全装置(ハイリミットスイッチ)

●万一、熱交換器内が空焚状態、または異常温度となった場合に作動し、ガス通路を閉じてメーンバーナーの炎が消え、燃焼ランプが点滅します。

●この装置が働くと器具の診断が必要です。ガス元せんを閉め、メーンコントローラの運転スイッチを切ってからお近くの大阪ガスサービスショップもしくは大阪ガス支社・サービスステーションへご連絡ください。

■過熱防止装置（温度ヒューズ）

●使用中に器具に異常が生じ、器具内の温度が異常に上昇したとき、装置が働きガス通路を閉じて、バーナーの炎が消えます。

●この装置が働くと部品交換をしないと使用できませんので、ガス元せん・給水元せんを閉め、メーンコントローラの運転スイッチを切ってからお近くの大阪ガスサービスショップもしくは大阪ガス支社・サービスステーションへご連絡ください。

●燃焼ランプが点滅している時は、いったん運転スイッチを「切」にして、しばらくしてから「入」にしてください。

●再び燃焼ランプが点滅する場合は運転スイッチを「切」にしてからガス元せんを閉め、お近くの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社・サービスステーションへご連絡ください。

●冬期、排気部から湯気のでることがありますが異常ではありません。
（これは人のはく息が白くなるのと同じ現象です。）

●この器具は自動過流出防止装置を内蔵しております。これは水温を感知し、自動的に器具を通過する水の量を調節する働きをします。そのため冬期湯量が変化することがありますが異常ではありません。

●メーターボックス内は火災予防のため燃えやすいものを置かないでください。また物置等に利用しないでください。

●点検・手入れについては、下記の日常の点検以外は大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社に依頼してください。

●点検で異常を見つけられたときは、大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社に修理を依頼してください。

●点検・手入れの前には必ずガス元せんを閉じ、器具が冷えてから行なってください。

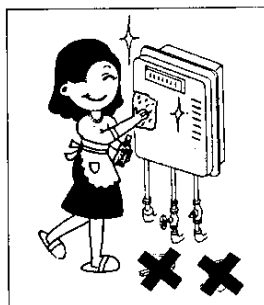
●安全装置及びガスの通路部分は絶対に分解しないでください。

●安全にお使いいただくためにときどき点検してください。

●器具の近くに紙、プラスチック、油類など燃えやすいものをおいてはいませんか。

ときどき

●外装の掃除

やわらかい布に中性洗剤をひたし、軽く拭いてください。
（タワシやブラシなどでこすらないよう注意してください。）

ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、直ちにご使用を中止して十分な点検をお願いします。

原因 ＼ 現象	点火しない：運転ランプが点灯しない	点火しない：燃焼ランプが点灯しない	点火しない：燃焼ランプが点滅する	使用中に消火する	炎が安定しない	黄火で燃える	高温のお湯が出ない	低温のお湯が出ない	処置方法	参照ページ
ガス元せんの開き忘れ			○						ガス元せんを全開にする	8
ガス元せんの開き不足			○	○			○		ガス元せんを全開にする	8
ガス管の中に空気が残っている			○							9
ガス圧が適切でない			○	○	○	○	○		※	
電源プラグが抜けている	○	○		○					コンセントにしっかり差し込む	8
電路の漏電シャ断器が作動	○								漏電シャ断器のリセットボタンを押す	
停電している	○	○		○					使用を一たん中止する	
安全装置の作動			○	○					※	
バーナー炎口つまり			○		○	○			※	
出湯量が多すぎる							○		給湯せんを少し絞る	9
湯温調節機能を切替えていない							○	○		10
給水元せんの開き不足		○							給水元せんを全開で使う	8
給水元せんの開き忘れ		○							給水元せんを全開で使う	8
湯温切替つまみの位置が適切でない							○	○	適切な位置にする	10

なお※印のもの、処置や原因のわからないときは、ただちにお買い求めの販売店、または大阪ガス支社へご連絡ください。

長期間に渡って使用しない場合は、器具の水抜きを行なってください。
（器具の中の水を抜く方法については12ページをお読みください）

[illegible]

[illegible]

- 17ページ「故障異常の見分け方と処置方法」の項を見て、もう一度ご確認下さい。
- 確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないでお買い上げの店またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。なお、ご連絡いただくときは、次のことをお知らせください。

  ① 品　名……（ガス湯沸器セントラルタイプ）

  ② 品　番……ガス接続口の近くに貼付してあります。

  (例) | (4) 33-691A(U) |
  |---|
  | 大阪ガス株式会社 15 |

  ③ 現　象……（できるだけ詳しく）

  ④ 道　順……（できるだけ詳しく）

[illegible]

- **ガスには都市ガス14種類およびＬＰガスの区分があります。**

  ガスの種類が異なる地域へ転居される場合は、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認のうえ、大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社にご相談ください。

  この場合調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

[illegible]

- **この器具には保証書がついています。**

  このガス湯沸器（セントラルタイプ）は保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。

  保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

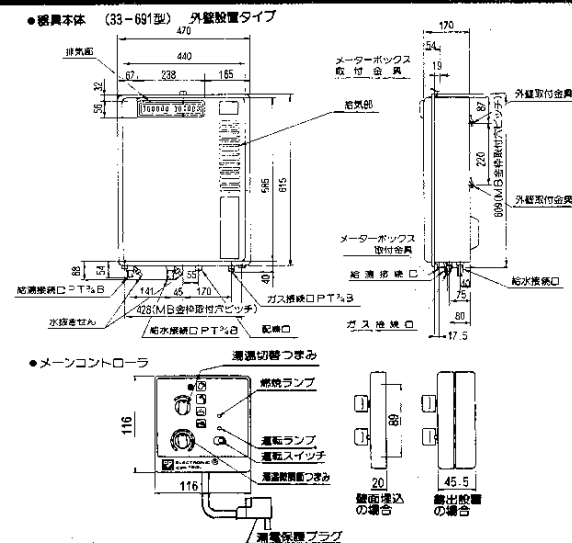
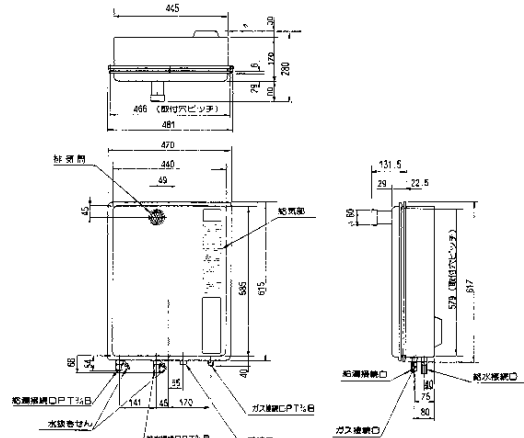
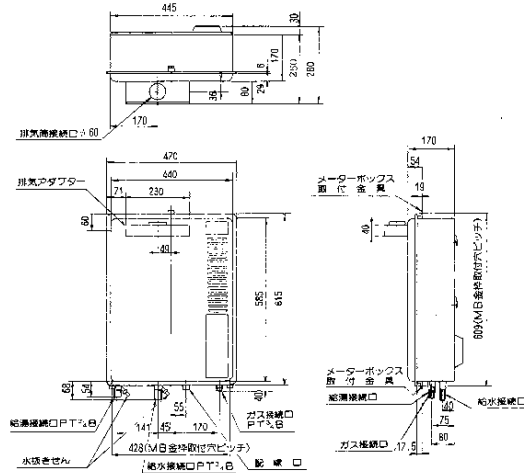
1 この湯沸器は建設大臣認定、優良住宅部品（ＢＬ）に認定されているもので、従来型と比較して大巾にコンパクトな省スペースタイプです。

2 この湯沸器は、１台で数ケ所に給湯できる**セントラルタイプ**ですので、取付けた所だけでなくはなれた所でも、給湯せんを操作するだけでお湯が使えます。

3 使用目的によって４号から13号までの能力切替えが可能です。同一設定温度で出湯量を変えても適量適温のお湯をお使いいただけます。（ただし給湯能力の範囲内）

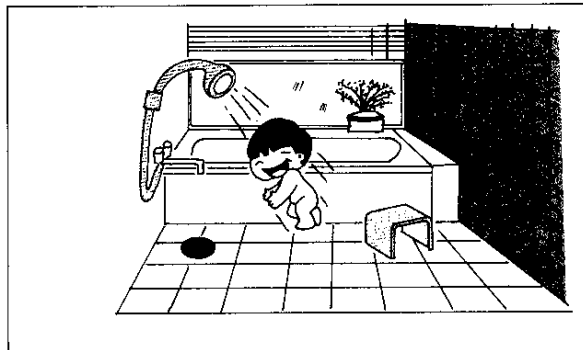
4 高密度燃焼により燃焼効率を80%に維持し、しかもお湯の必要なときだけ点火するダイレクト点火方式でガスのムダを省きました。

5 操作はメーンコントローラの運転スイッチを入れるだけ、あとは給湯せんをひねるだけでお湯がご使用になれます。

仕様一覧表

項目 ＼ 種別		33－691、33－692型			
		都市ガス6C	都市ガス13A	都市ガス6A	LPガス
ガス消費量 (Kcal/h)	33-691	24100	24100	24100	2.01kg/h
	33-692	23500	23500	23500	1.96kg/h
外形寸法 (mm)		高さ615 ×幅470 ×奥行170			
重量 (kg)		23			
接続	ガス	PT3/4B			
	給水	PT3/4B			
	給湯	PT3/4B			
	電気	AC100V、60Hz			
電気消費量 (W)		84 (凍結防止ヒーターは100W)			
点火方式		連続スパークによるダイレクト点火			
最低作動水圧 (kg/cm²)		0.3			
安全装置		バーナー安全装置、過熱防止装置 残火安全装置、凍結防止ヒーター 過圧逃し弁			

[illegible]部品のご紹介

●メーンコントローラ方式にシャワーコントローラをプラスすれば浴室からも湯温調節できます。

38－692型（壁貫通タイプ）
38－693型（壁取り付けタイプ）
38－696型（端子接続タイプ）

年中、快適に風呂給湯と、シャワー、上り湯が使用できます。又、洗面化粧台、流し台へも給湯できます。

おねがい

ガスくさいときは、お部屋の元せんを閉め、窓を全開してから(火気に注意して)大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。

本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

本社ガスビル サービスセンター	〒541	大阪市東区平野町5丁目1	☎大阪 06(202)2221
南支社	〒557	大阪市西成区玉出東2丁目9番4号	☎大阪 06(652)0001
北支社	〒532	大阪市淀川区十三本町3丁目6番35号	☎大阪 06(301)1251
堺支社	〒590	堺市住吉橋町2丁2番19号	☎堺 0722(38)1131
北摂支社	〒569	高槻市藤の里39－6	☎高槻 0726(71)0361
阪神支社	〒662	西宮市和上町4番14号	☎西宮 0798(26)3101
東部支社	〒578	東大阪市稲葉2丁目3番17号	☎河内 0729(62)1131
京阪支社	〒573	枚方市西田宮町16番17号	☎枚方 0720(41)1251
神戸支社	〒650	神戸市中央区相生町5丁目13番10号	☎神戸 078(576)5231
京都支社	〒604	京都市中京区烏丸通池堀屋町358	☎京都 075(231)8151
奈良支社	〒631	奈良市学園北2丁目4番1号	☎奈良 0742(44)1111
和歌山支社	〒640	和歌山市本町1丁目1	☎和歌山 0734(31)2481
姫路支社	〒670	姫路市紺屋町4丁目8	☎姫路 0792(85)2221
東播支社	〒675	加古川市加古川町粟津29の1	☎加古川 0794(21)1801
豊岡支社	〒668	豊岡市三坂町6丁目57番地	☎豊岡 07962(3)2221
湖南支社	〒525	草津市追分町字荒堀680の1	☎草津 0775(62)5311
彦根支社	〒522	彦根市大東町9番4号	☎彦根 0749(22)3131
(長浜営業所	〒526	長浜市南呉服町3番4号	☎長浜 07496(2)7171)

その他当社サービスステーション、およびサービスショップ、風呂販売店

大阪ガス株式会社

63.08.(00)